



著者プロフィール

角 光雄（かど・みつお）

昭和6年（1931）7月1日、広島県に生まれる。俳句は、昭和22年、松本正氣主幹「春星」に拠り、青木月斗の雌黄を受けるに始まる。昭和45年より17年間「うぐいす」編集者。63年、「あじろ」を創刊、主宰。「同人」700号・750号記念論文優秀賞を受賞。「うぐいす」および「同人」功労賞。

句集に、『昭和世代作家・角光雄集』『菊しぐれ』『薫風』『栗ごはん』『白菜』等。共同執筆に『大阪の俳人たち2』（青木月斗）、項目執筆に『俳文学大辞典』『名句鑑賞辞典』等。「同人」「晨」同人。俳人協会評議員、大阪俳句史研究会評議員、大阪俳人クラブ常任理事、高槻市俳句作家連盟顧問、俳文学会会員。

〈評論『俳人青木月斗』より転載〉
〈2009年10月31日時点〉